

## 「ちきゅうのみらいのしんぱいごと」

京都教育大学附属桃山小学校 2年 町 真愛

この夏わたしは、ちきゅうのみらいがしんぱいになる二つのことを見つけました。

一つめは、うちではなかなかエアコンをつけませんが、この夏とてもあつくて、エアコンをつけました。いえはずしかなかったけど、そとに出ると、しつがいきからは、あつい風がふいてきました。みんながエアコンをつけると、そとはどんどんあつくなるのかなと思いました。

それから海へあそびに行った時、ペットボトルやビニールぶくろがおちていました。しゅくだいでよんだ新聞にわたしたちは、気づかないうちに、一年間に一二万このプラスチックゴミをたべているかもしれないと書いてあったのでゴミを見てきもちわるいと思いました。レジのふくろはお日さまの光でボロボロにされるだけおんしつこうかガスを多くだすそうです。それからプラスチックゴミは、ゴミしよりでもたかさんのおんしつこうかガスをだすと先生が教えてくれました。ゴミは、わざとすてられたのではないかもしれないけど、このままではゴミのせいで、ちきゅうおんだんかになるかもしれないです。

こうさくで、ぎゅうにゅうパックからはがきをつくりました。ぎゅうにゅうパックのゴミはほとんど出ませんでした。リサイクルできるものはリサイクルして、ゴミをふやさないようにするのもいいなと思います。

わたしたちはエアコンだけではなくて、せんぶうきやうちわやせんすなどをつかうとか、ゴミはゴミばこにきちんとすてるとかリサイクルできるものはぶんべつしてきちんとすてるとか紙ぶくろつかったり、エコバッグをつかってレジぶくろをつかわないくふうをしたほうがいいと思いました。

人間のせいでちきゅうがあつくなったり、プラスチックをたべさせたり、ほかのどうぶつも本とうにかわいそうです。

わたしにできることはすこしだけど、みんなですこしずつどりよくして、ちきゅうおんだんかをふせげるのかなと思いました。